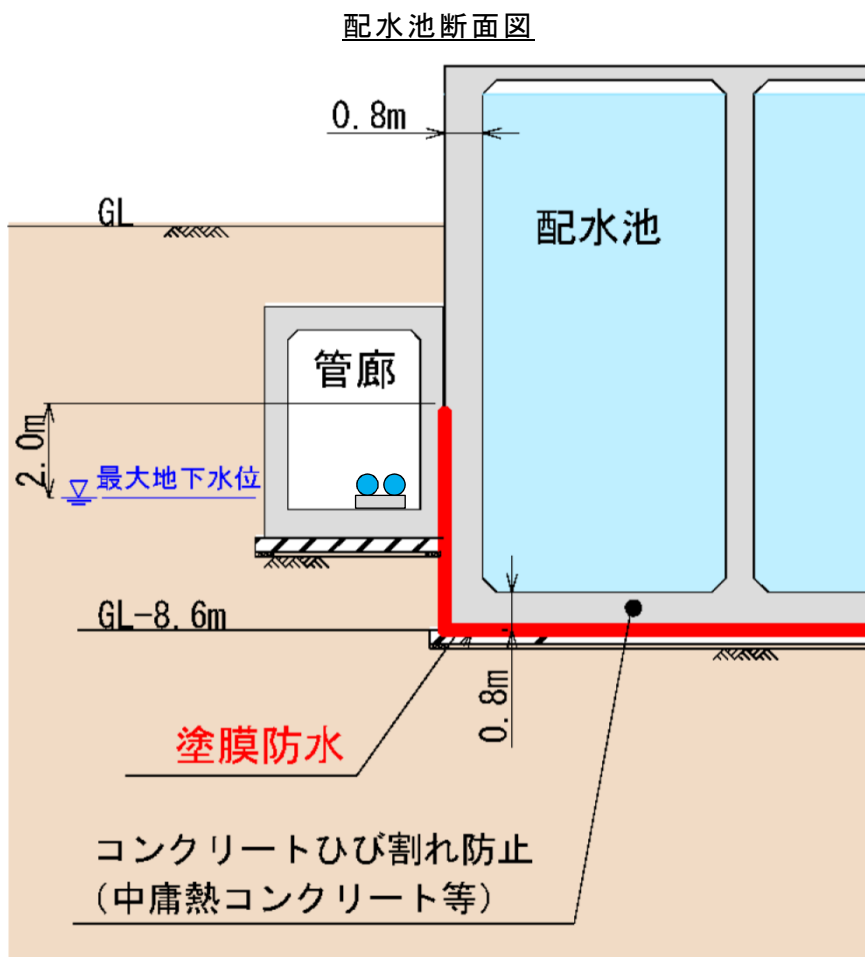


飲用水の安全・安心を確保するための対策工法

○ 学識経験者の意見を踏まえた対策工法を以下に示す。



学識経験者の主な意見	
土壌汚染	<ul style="list-style-type: none"> ・ ひ素は自然由来の可能性が高い。 ・ 配水池の水位と地下水位の関係から水道施設への影響は極めて低い。
対策工法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本工事での対策工法としては、塗膜防水が適切である。 ・ 対策の範囲は、最大地下水位+2m程度が適当である。

